

time	comment
	<p>5時台の日替わりコーナー・水曜日は「Sports navigation」です。</p> <p>このコーナーは、県民の胸を熱くするプロスポーツ試合・大会について、選手や関係者、あるいは応援している、ささえている方々をゲストに迎え、その魅力などを伺います。またアマチュアスポーツや生涯スポーツの魅力についても探っています。</p> <p>今週は、フランス生まれのニュー=生涯スポーツ「ペタンク」に関してです。 ゲストは、山形県ペタンク連盟理事長の布施善範さんです。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>※ここからインタビューパート</p> <p>黒文字→質問内容 青文字→お答えいただきたいこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■まずは「ペタンク」とはどんなスポーツなのか？その発祥から教えて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペタンクの発祥と歴史についてお話下さい（1分程度） <p>ペタンクの語源 フランス・プロヴァンス語のピエ（足）とタンケ（揃える）(Pieds tanques)からペタンクになりました。</p> <p>ペタンクの起源は、ローマ時代にさかのぼります。「スフェリスティック」という丸い石を用いた遊びをもとにしてペタンクの原型といわれる球戯が、古代ローマ人によって発明されました。</p> <p>しかし、この原型は助走をしてボールを投げる形式でした。（現在行われているプロヴァンサル競技です。）1907年にペタンクを考案したのは、マルセイユに住んでいたルノワール兄弟です。リュウマチの悪化で車イスの生活を余儀なくされていた兄が手持ち無沙汰にしているのを見て、弟が助走をしないで投げてみては、と提案したのだそうです。ですからペタンクという名称は、「両足をそろえて」という意味のプロヴァンス語の「ピエ・タンケ」(Pieds tanques)に由来しているのです。1995年にオリンピック種目に登録される。（公式種目にはまだです。東京は落選）</p> <p>類似のスポーツとして、スポールブル（助走あり）・ポッチャ（中度・重度のパラスポーツ）＝イタリア、ローンボール（ボウリングの原型）＝イギリス、変化型としてカーリング＝カナダ等があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本や山形県での歴史にも言及下さい（1分程度） <p>日本では、1970年に日本ボンボール協会として、活動を始める。1964年に日本ペタンク連盟と日本ペタンク協会に分かれ、その後いくつかの団体に分かれる。2014年に公益社団法人日本ペタンク・ブル連盟として団体を統一し、現在に至る。</p> <p>山形県では1989年に日本レクリエーション協会主催のニュースポーツセミナーにて、ペタンクを受講し受講生を中心に普及を図り、1992年に山形県ペタンク協会と山形県ペタンク連盟に分かれて設立し、別々に活動を始めるが2021年に両団体が合流し、活動を一緒にすることになりました。</p> <p>■どんな用具を使い、どんなルールで行なわれるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技における基本ルールや用具について教えてください。（2分程度） <p>◎用具は、*ペタンクボール（鉄球 直径6.5cm～8cm＝野球ボール位、重さ600g～800g＝ペットボトルと同等＝600ml＝600g）*目標球＝ジャック＝ピュット 直径3cm 重さ10g～18g *得点板（手作りOK） *メジャー（市販のもの 2m～3mのもの）</p> <p>◎ルールは、1人対1人・2人対2人・3人対3人で対戦し、ボールは各自1人対1人・2人対2人は3個、3人対3人は2個持ちます。</p> <p>先行チームは決められたサークル（円）から、目標球を6m～10m程度に投げ、ボールを目標</p> </div>

球に近づけるよう投げます。次に相手チームも目標球に近くなるように投げます。この時、相手チームのボールや目標球にぶつけて移動させてもOKです。目標球より遠い場合は近くなるまで、投げ最後にボールを投げ切った時点で目標球に近いボールが相手の一番近いボール内に何個あるかが得点になります。何回か続け、11点とか13点とか最初に決めていた点数になれば勝ちです。

■現在の山形県の競技人口について教えてください。

- ・競技人口についての課題などを教えてください。(1分程度)

山形県内では、長井市・新庄市・鶴岡市藤島(旧藤島町)・中山町に組織された団体があり、各種大会等も開催し、県健康福祉祭や県スポ・レク祭のペタンク大会等も委託事業として主管しております。ただ、愛好者が高齢化しているため、お子様を含め家族単位や若年層への普及が課題になっております。国際大会でも11歳以下の大会や12歳から15歳までのジュニア選手権、女子の世界選手権、男子の世界選手権もありますので、日本代表を目指すことも可能です。

■ペタンクの魅力をぜひ教えてください。

- ・ペタンクの魅力についてお話しください。(1分程度)

年齢性別に関係なく、ボールを投げることが可能な人ならば(軽度の身障者=車椅子や松葉づえでもOK)どなたでも気軽にできる軽スポーツです。(10時から15時位の大会ですと10,000位歩ります。)

- ・はじめたいという方のために…(30秒程度)

1月15日に中山町の室内ゲートボール場にて、体験会を開催いたします。

冬季間の場合は、野外でできないため中山町に来ていただくか、室内の土間の場所がありましたらご連絡いただければお伺いいたしますし、ポッチャボールで代用し室内でもご指導いたしますのでご連絡ください。なお、「山形県ペタンク連盟」で検索していただければホームページにも記載してあります。ご連絡お待ちしております。

「Sports navigation」

今週は、フランス生まれの**ニュー=生涯**スポーツ「ペタンク」に関して、

山形県ペタンク連盟理事長の布施善範さんに伺いました。ありがとうございました。